

会 告

学会会員殿

婦人科腫瘍委員会の検討結果にもとづき、子宮体癌の進行期については、平成8年に行う登録(平成7年1月以後の症例)より、下記のFIGO(1988)が定めた手術進行期分類を用いることにしましたので、会告として会員にお知らせします。

記

手術進行期分類

- 0期 子宮内膜異型増殖症
- I期 癌が子宮体部に限局するもの。
 - Ia期 子宮内膜に限局するもの。
 - Ib期 浸潤が子宮筋層1/2以内のもの。
 - Ic期 浸潤が子宮筋層1/2を超えるもの。
- II期 癌が体部および頸部におよぶもの。
 - IIa期 頸部腺のみを侵すもの。
 - IIb期 頸部間質浸潤のあるもの。
- III期 癌が子宮外に広がるが小骨盤腔を超えていないもの、または所属リンパ節転移のあるもの。
 - IIIa期 漿膜ならびに/あるいは付属器を侵す、ならびに/あるいは腹腔細胞診陽性のもの。
 - IIIb期 腔転移のあるもの。
 - IIIc期 骨盤リンパ節ならびに/あるいは傍大動脈リンパ節転移のあるもの。
- IV期 癌が小骨盤腔を越えているか、明らかに膀胱または腸粘膜を侵すもの。
 - IVa期 膀胱ならびに/あるいは腸粘膜浸潤のあるもの。
 - IVb期 腹腔内ならびに/あるいは鼠径リンパ節転移を含む遠隔転移のあるもの。

分類にあたっての注意事項

1. 初回治療として手術がなされなかった例(放射線療法など)には、従来からの臨床進行期分類が適用される。
2. 各期とも腺癌の組織分化度により、それぞれ亜分類される。
3. 0期は治療統計には含まれない。FIGOでは0期は設定されていないが、日本産科婦人科学会では従来の分類との整合性より0期を設定した。
4. 所属リンパ節とは基靱帯リンパ節、仙骨リンパ節、閉鎖リンパ節、内腸骨リンパ節、鼠径上リンパ節、外腸骨リンパ節、総腸骨リンパ節、傍大動脈リンパ節をいう。
5. 子宮傍結合組織浸潤例はIIIc期とする。
6. 本分類は手術後分類であるから、従来I期とII期の区別に用いられてきた部位別搔爬などの所見は考慮しない。
7. 子宮筋層の厚さは腫瘍浸潤の部位において測定することが望ましい。

子宮体部腺癌の組織学的分化度

すべての類内膜癌は腺癌成分の形態により Grade 1, 2, 3 に分類される。

Grade 1: 充実性増殖の占める割合が腺癌成分の5%以下のもの。

Grade 2: 充実性増殖の占める割合が腺癌成分の6~50%のもの。

あるいは、充実性増殖の割合が5%以下でも細胞異型の著しく強いもの。

Grade 3: 充実性増殖の占める割合が腺癌成分の50%を超えるもの。

あるいは、充実性増殖の割合が6~50%以下でも細胞異型の著しく強いもの。

組織学的分化度に関する注意

1. 漿液性腺癌、明細胞腺癌、扁平上皮癌は核異型により Grade を判定する。
2. 扁平上皮への分化を伴う腺癌の Grade は腺癌成分によって判定する。

平成8年1月

社団法人 日本産科婦人科学会
会 長 水 口 弘 司
婦人科腫瘍委員会
委員長 工 藤 隆 一